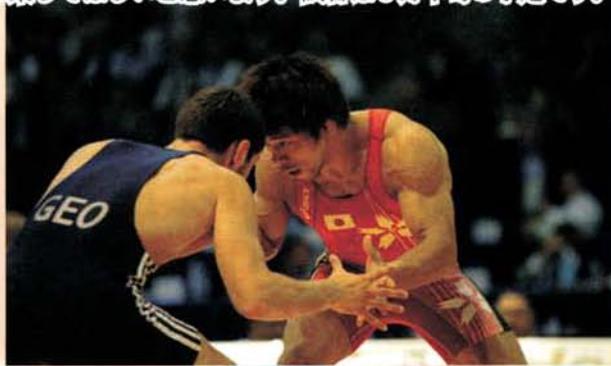




2008年(平成20年)8月 創刊号
発行／向上高等学校同窓会 こゆるぎ会
〒259-1185
神奈川県伊勢原市見附島411番地
向上高等学校こゆるぎ会事務局
TEL 0463-98-0411
編集印刷／株式会社イーピーエス
〒121-0831
足立区舎人3-11-26 EPS
03-5839-3456㈹

笠本さん(平成7年度卒業) 北京オリンピック代表に決まる

笠本睦さんは、シドニー、アテネに続き北京オリンピックの出場(3大会連続)をきめました。前回のアテネ大会では5位という結果でした。審判の判定ミスではないかという抗議もありました。北京ではアテネの雪辱をぜひ果してほしいと思います。試合は8月中旬の予定です。



笠本 睦 プロフィール
1977.10.21生(26歳)



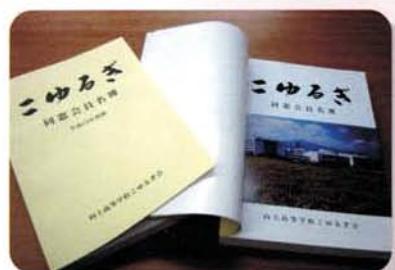
<略歴(競技歴)>
相模原市立共和中学
野球部に所属
向上高校(平成7年度卒業)

レスリング部		
全国選抜大会	54kg級	3位
全校高校総体	54kg級	2回戦敗退
国民体育大会	54kg級	3位
全国グレコローマン選手権	54kg級	3位
日本体育大学(平成11年度卒業)		
全日本選手権大会	58kg級	(2位・2回戦敗退)
全日本学生選手権大会 (シドニーオリンピック出場枠を獲得)	58kg級	3位・2回戦敗退
総合警備保障(平成12年入社)		
シドニーオリンピック代表決定戦	勝利	
シドニーオリンピック	58kg級	8位
'01世界選手権	60kg級	7位
東アジア選手権	60kg級	2位
'02世界選手権	60kg級	10位
'02アジア選手権大会	60kg級	3位
'03世界選手権大会	60kg級	予選リーグ敗退
オリンピックトライアル	60kg級	優勝
アテネオリンピック	60kg級	5位
'06アジア選手権大会	60kg級	優勝
'07世界選手権大会	60kg級	2位
全日本選手権大会	60kg級	優勝

北京オリンピック代表決定

名簿発刊のお礼

昨年7月、学園創立100周年記念の一環として、こゆるぎ会(同窓会)としては学校の協力をいただき、会員名簿を発刊しました。多くの会員の皆様にもご協力、ご支援いただきありがとうございました。今後もこゆるぎ会の活動にご協力をお願いいたします。



向上高等学校こゆるぎ会会則

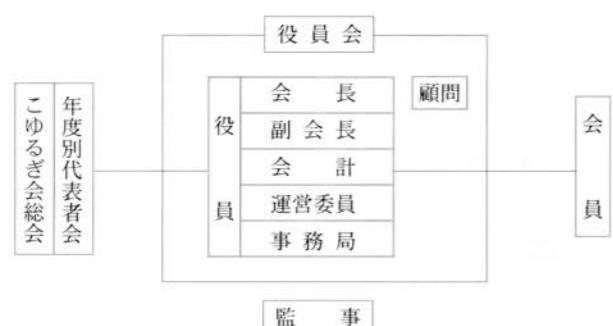
第1章 名称及び事務所

第1条 本会は向上高等学校こゆるぎ会と称する。
第2条 本会は事務局を向上高等学校内におく。

第2章 目的

第3条 本会は会員相互の親睦をはかり母校の発展を期しその校風を社会的に高めることを目的とする。

第3章 組織



第4条 本会の会員は次の3種とし図示の組織をもって構成する。

1. 正会員 向上高等学校を卒業した者
2. 特別会員 本会の特に功労のあった者で役員の推薦した者
3. 客員 向上高等学校現旧教職員

第4章 機関

第5条 本会に次の機関をおく。

1. こゆるぎ会総会
2. 年度別代表者会
3. 役員会

第6条 総会は毎年1回、年度別代表者会は毎年1回以上、役員会は随時開催する。

第7条 総会、年度別代表者会、役員会は会長がこれを招集する。総会、年度別代表者会の議案、日時は役員会で定める。

第8条 年度別代表者会は、各年度3人の幹事で構成する。

第9条 年度別代表者は、役員会または各年度の卒業生の推薦により選定して会長が委嘱する。

第10条 年度別代表者の任期は2ヵ年とし再任を妨げない。欠員が生じた場合は速やかに補充しその任期は前任者の残任期間とする。

第11条 年度別代表者会は構成員の三分の二以上の出席により成立する。

第12条 役員会は会長、顧問、副会長、会計、運営委員、事務局をもって構成する。

第13条 役員会は構成員の三分の二以上の出席により成立する。

第14条 会長は向上高等学校長が会員中より委嘱する。顧問は向上高等学校長がその任にあたる。副会長・会計は役員会において推薦する。

第15条 会計は会員中より選定して会長が委嘱する。監事は会員中より会長が委嘱する。

第16条 事務局は正会員、特別会員、客員中より選定して会長が委嘱する。

第17条 事務局は正会員、特別会員、客員中より選定して会長が委嘱する。

第18条 事務局は正会員、特別会員、客員中より選定して会長が委嘱する。

第19条 事務局は正会員、特別会員、客員中より選定して会長が委嘱する。

第20条 事務局は正会員、特別会員、客員中より選定して会長が委嘱する。

第21条 事務局は正会員、特別会員、客員中より選定して会長が委嘱する。

第22条 事務局は正会員、特別会員、客員中より選定して会長が委嘱する。

第23条 事務局は正会員、特別会員、客員中より選定して会長が委嘱する。

第24条 事務局は正会員、特別会員、客員中より選定して会長が委嘱する。

第25条 事務局は正会員、特別会員、客員中より選定して会長が委嘱する。

第26条 事務局は正会員、特別会員、客員中より選定して会長が委嘱する。

第27条 事務局は正会員、特別会員、客員中より選定して会長が委嘱する。

第28条 事務局は正会員、特別会員、客員中より選定して会長が委嘱する。

第5章 役員

第14条 本会に次の役員をおく。

会長	1名	副会長	若干名	会計	2名	運営委員	若干名
事務局	若干名	顧問	1名				

第15条 会長は本会を代表し会の運営にあたる。

第16条 顧問は本会の運営に助言する。

第17条 副会長は会長を補佐し、会長事故ある場合はその任務を代行する。

第18条 会計は会計事務を掌る。

第19条 運営委員は役員会の業務を分掌する。

第20条 事務局は本会の運営事務全般を掌る。

第21条 本会に監事をおく。

第22条 1. 監事は役員を除く2名で構成する。
2. 監事は本会会計を監査する。
3. 監事の任期は原則2ヵ年とする。

第23条 役員の任期は2ヵ年とし再任を妨げない。欠員が生じた場合は速やかに補充しその任期は前任者の残任期間とする。

第6章 事業

第24条 本会は次の事業を行う。

1. 会員の集会
2. 会員名簿の発行
3. 会員相互の慶弔
4. 向上高等学校において必要と認めた事業の後援
5. その他必要な事項

第7章 会計

第25条 本会の会計は会員の会費及びその他寄附金による。

第26条 本会正会員は入会金及び終身会費として卒業時に金1万5千円を納入するものとする。

第27条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月末日に終わる。

第28条 本会の予算及び決算は役員会においてこれを作成し総会や会報等で会員に報告する。

第8章 改正

第29条 この会の会則の改正を必要とする場合には役員会で改正し総会や会報等で会員に報告する。

第9章 捕則

第30条 この会則は昭和41年10月8日より実施する。
この会則は平成7年4月1日より改正実施する。
この会則は平成20年2月17日より改正実施する。



こゆるぎ会会長 平井 久
「こゆるぎ会会報」(「同窓会会報」)
がここにはじめて発刊できました。
昭和四十年(一九六五年)向上高
等学校と校名が変更されから今年で四十三年。今ま
で「同窓会会報」という形で、会員の皆様にお届け出来
ていませんでしたが、これからは毎年発行し、学校と
同窓会の様子を皆様にお伝えしていく予定です。昨年
度には、学校のご協力もあり、「こゆるぎ会」の組織も
ほぼ確立しました。こゆるぎ会を運営するスタッフは
十二名の役員、二名の監事の編成となりました。「こ
ゆるぎ会」活性化のために定期的に役員会を開き、会
則の見直し、事業計画や予算などについて活発な議論
をしています。その一貫となるのがこの会報です。

向上高等学校の同窓会組織ができたことで、向上高
等学校の前身校である湘北中学校(旧制)・湘北高等学
校の同窓会組織「湘北校友会」、湘北中学校(旧制)・湘
北高等学校の前身校である自修学校の同窓会組織「自
修学校校友会」そして、兄弟校である自修館中等教育
学校の同窓会組織「自修会」と共に活動が出来るよう
になりました。向上学園は、平成二十二年創立百周年を迎える。
それに向けて、自修学校、湘北中学校・高等学校、向上
高等学校、自修館中等教育学校の四つの同窓会組織が
協力し合って準備を進めています。諸先輩方との交流
の中で、創立百年は学園に関わって下さった多くの方
々、多くの卒業生の尽力の積み重ねの上に生まれたこ
とを、あらためて実感しています。
これからも、会員の皆様のご協力をいただき、「こゆ
るぎ会」と向上高校・向上学園の発展を期していきた
いと思います。

会報発刊に寄せて

校長 三谷 幸久

長年懸案であった「こゆるぎ会
会報」が発刊されました。おめで
ります。とうござります。これも「こゆ
るぎ会」役員や同窓会事務局の方々のご尽力の賜であ
ります。

向上线は、平成十七年度より三コース制(文理・
選抜・特進)を敷いています。長い歴史の中で築か
れてきた校風は、諸先輩方から在校生に受け継がれ
ており、約千名の在校生は、勉強やクラブ活動に勤
しみ、明るく学校生活を送っています。この三月
には、約八十名の生徒が大学進学を果たしました。
また、今年度の春の関東大会には二クラブ(レスリ
ング部・ラグビー部)、夏の全国大会に四クラブ(新
聞委員会・放送部・書道部・レスリング部)が出場
しました。近年は文化部の活躍が際立っています。教
育や学校も例外ではありません。少子化の中、本校
も時期を失うことなく大胆に対応し、思い切った改
革をしております。その拠り所になるのは、創立に
当たつて灯した理想ー建学の精神ーです。それは、
当校訓「明・淨・直」であり校は「自学・自修・実践」
です。学園創立百周年である二〇一〇年に向け、長
い歴史の中で築いてきた向上文化(心の教育)を繼
承し、中学生、保護者、地域の二ーズに応える魅力
ある学校として発展するように、全職員で日々教育
活動に取り組んでおります。

この「こゆるぎ会会報」が一万四千人を越える卒
業生の皆様と学校とのパイプ役となりますことをご
祈念申し上げます。卒業生の皆様には、今後とも母
校発展のために、ご支援を賜りますようお願い申し
上げます。

監 事 務 運 営 会 副 会 顧 会
三辻 事 笹 西 局 岩 平 春 井 成 下 梶 委 仁 工 計 加 高 長 三 問 平 長
橋野 尾山 渕井 田上 田田 科藤 藤倉 谷 井

加雪	崇陽	久桂	陽かよ	規正	洋孝
代子	晴造	美	三子	一	武元
(H 247 卒)	(H 747 卒)	(S 56 卒)	(S 55 卒)	(S 53 卒)	(S 49 卒)
子	茂晃	応将	三子	規正	洋孝
(S 59 卒)	(S 55 卒)	(S 53 卒)	(S 52 卒)	(S 48 卒)	(S 45 卒)
員	客	客	客	規正	洋孝
(S 59 卒)	(S 55 卒)	(S 53 卒)	(S 52 卒)	(S 48 卒)	(S 45 卒)



平成二十・二十一年度 こゆるぎ会 役員

久 (湘北 S 27 卒客員)

〔学園創立100周年記念実行委員会〕
宮崎理事長を委員長とし、現旧教職員、自修学校・湘北中学校、湘北高等学校・向上高等学校・修館中等教育学校の各同窓会の役員代表、向上高等学校と自修館中等教育学校の保護者代表からなる、「学園創立100周年記念実行委員会」が昨年度組織され、平成二十二年に向けて記念誌の発行、記念事業や式典、祝賀会などの準備を進めています。またこれに伴う募金の方法について検討して

創立100周年記念式典を平成二十一年（2010年）七月十二日に行うのは、公的に学校として開校された、明治四十三年七月十二日が基準になつています。

明治四十年（1907年）小田原市曾我の、曹洞宗瑞雲寺住職大井龍跳先生により、当時の家塾を発展させた自修学会が組織されました。その後の明治四十三年（1910年）私立学校令により校名を自修学校と改称、同年七月十二日自修学校が開校されました。

昭和十六年（1941年）二月十二日湘北中学校（旧制）設立。その後学校制度の改革により、昭和二十二年（1947年）湘北中学校（新制）、昭和二十三年（1948年）湘北高等学校（新制）を設置。昭和四十年（1965年）十月、向上中学校、向

上高等学校に校名を変更。昭和四十二年（1967年）小田原市より伊勢原市に移転。平成十一年（1999年）自修館中学校を併設、そして平成十三年（2001年）中等教育学校の設置認可を受け、現在の向上高等学校と自修館中等教育学校に至っています。

学園創立100周年記念式典
平成二十二年七月十一日に決まる



歴史と時を刻む日時計の移設 (学園記念事業)



曾我校舎と日時計
光陰矢のごとし……校庭で風雨
にもめげず時を刻む日時計は生
徒に「時」の大切さを教えます
デザイン行動美術協会、尾川宏
氏の作。

1965(昭和40)年10月9日湘北中学校・湘北高等学校から向上中学校・向上高等学校に校名変更されたのを記念して、曾我校舎に寄贈された日時計を学園の記念事業として移設し、教職員ならびに在校生に先人達が築き上げた歴史の重みと時の大切さを未来に伝えていきます。

創立100周年記念ロゴマーク

100th
ANNIVERSARY · 2010

「K」(向上)と「J」(自修館)が融合するイメージに、学園と地域との共生を大切に歩む姿勢をライン部分が組み合わされことで表現し、無限の発展性を表す「∞」が完成し、未来を拓く逞しさを「100」の数字で成り立つことを強調しております。

こゆるぎ会 平成20年度 予算

(単位：円)

収入の部				(単位：円)
項目	20年度予算額	19年度決算額	前年度実績比	摘要
前年度繰越金	16,924,663	20,045,794	-3,121,131	
利息収入	30,056	30,056	0	預金利息
同窓会会費	5,910,000	2,830,000	3,080,000	394名×15,000円
合計	22,864,719	22,905,850	-41,131	

支出の部

項目	20年度予算額	19年度決算額	前年度実績比	摘要
事業費	2,520,000	1,324,692	1,195,308	こゆるぎ会会報作成、入学式花他
慶弔費	180,000	100,310	79,690	葬儀供花、御祝金
会議費	107,000	42,085	64,915	役員交通費、食事代
交通費	30,000	0	30,000	
通信費	56,000	6,420	49,580	切手代等
備品費	0	7,680	-7,680	
消耗品費	0	0	0	
名簿作成費	63,000	1,500,000	-1,437,000	名簿管理費
創立100周年事業費 積立金	2,000,000	3,000,000	-1,000,000	
次年度繰越金	17,908,719	16,924,663	984,056	
合計	22,864,719	22,905,850	-41,131	

平成二十年度活動計画

四月	自修館中等教育学校入学式 协力
五月	向上高校入学式 参列
六月	向上高校新入生瑞雲寺訪問の案内
七月	こゆるぎ会役員会
八月	学園創立一〇〇周年記念実行委員会出席
九月	湘北校友会總会 出席
十月	学園創立一〇〇周年記念実行委員会出席
二月	こゆるぎ会役員会
三月	こゆるぎ会役員会
四月	向上高校卒業式 参列
五月	自修館中等教育学校卒業式 協力
六月	学園創立一〇〇周年記念実行委員会 出席
七月	自修学校校友会總会 協力
八月	こゆるぎ会役員会
九月	こゆるぎ会役員会
十月	学園創立一〇〇周年記念実行委員会 出席
二月	こゆるぎ会役員会
三月	こゆるぎ会役員会

向上高等学校のホームページ (<http://www.kojo.ac.jp>) に「卒業生へのお知らせ」欄があります。ここをクリックすると「卒業生用メツセージボード」が表示されます。ここには、事務局から同窓会の皆様へのお知らせを掲載しますので、ご確認ください。また、同期会やクラス会などの案内を載せたい場合は、事務局までご連絡ください。



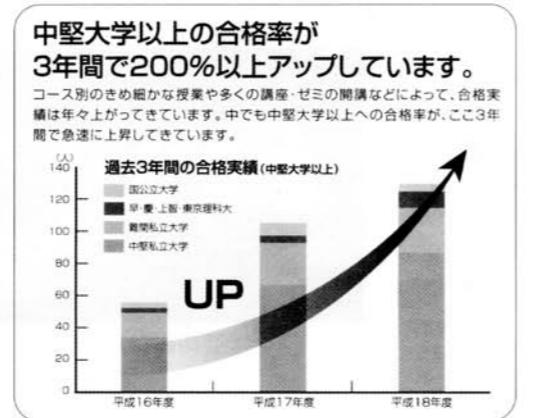
メッセージボードの 活用について

平成19年度合格実績

進路先	現役	浪人	合計	神奈川大学	18	3	21	成城大学	1	1	日本女子大学	1	1	湘南短期大学	1	1	
国公立大学(4年制)			神奈川工科大学	6	6	6	専修大学	7	3	10	フェリス女学院大学	2	2	湘北短期大学	8	8	
宇都宮大学			鎌倉女子大学	1	1	1	創価大学	2	2	2	文化女子大学	1	1	上智短期大学	1	1	
神奈川県立保健福祉大学			関東学院大学	8	8	8	大東文化大学	3	3	3	文教大学	1	1	聖セラピア女子短期大学	5	5	
群馬県立県民健康科学大学			北里大学	1	1	2	玉川大学	8	8	8	法政大学	5	2	鶴見大学短期大学部	1	1	
埼玉大学			杏林大学	2	2	2	中央大学	6	2	8	武藏工業大学	8	2	10	東海大学医療技術短期大学	2	2
佐賀大学			工学院大学	2	2	2	帝京大学	22	1	23	明治大学	4	2	6	東京農業大学短期大学部	1	1
信州大学			國學院大学	2	2	4	東海大学	21	4	25	明治学院大学	4	2	6	日本大学短期大学部	1	1
都留文科大学			国際医療福祉大学	1	3	4	東京経済大学	3	3	3	立教大学	2	2	白梅学園短期大学	1	1	
電気通信大学			国士館大学	7	7	7	東京工科大学	2	2	2	立正大学	1	1	ヤマザキ動物看護短期大学	1	1	
東京農工大学			駒澤大学	3	1	4	東京女子大学	1	1	1	和光大学	9	9	山野美容芸術短期大学	1	1	
横浜私立大学			相模女子大学	3	3	3	東京電機大学	3	3	3	早稲田大学	1	1	立教女子学院短期大学	1	1	
私立大学(4年制)			産業能率大学	4	4	4	東京農業大学	8	8	8	短期大学			国公立大学	13	0	13
青山学院大学			順天堂大学		1	1	東京理科大学	4	1	5	鎌倉女子大学短期大学部	2	2	私立大学	303	52	359
麻布大学			上智大学	1	1	1	東洋大学	7	7	7	國學院短期大学	1	1	短期大学	40	1	41
桜美林大学			昭和大学	2	2	2	日本大学	24	4	28	相模女子大学短期大学部	1	1	合計	356	53	413
大妻女子大学			昭和女子大学	4	4	4	日本獣医生命科学大学	1	1	1	自由が丘産能短期大学	2	2				

稻葉 邦子先生	(芸術科・音楽)
小松崎 洋介先生	(家庭科)
加園 信一先生	(英語科)
白川 留美先生	(英語科)
白川 俊成先生	(芸術科・音楽)
古川 久美先生	(芸術科・音楽)
立花 亮先生	(保健体育科)
山田 葉月先生	(家庭科)
松岡香奈子先生	(地歴公民科)
佐藤 剛先生	(英語科)
大澤 健史先生	(英語科)

教職員の異動



★吹奏楽
県吹奏楽コンクールA部門
県マーチングコンテストB部門
東関東マーチングコンテスト
B部門

成20年8月8日

三月一日、二〇〇七年度の卒業式が挙行され、文理クラス一七三人、選抜クラスマ五九人、特進コース五一人の合計二八三人が、母校を卒立つていきました。式は卒業証書伝達式と記念パーティの二部構成。運営委員の成田さん監事の三橋さんが参列し、後輩の今後の活躍を期しました。



四月八日、二〇〇八年度の入学式が体育館で行われました。あいにく雨、風の強い天候ではありましたが、文理コース二一四人、選抜コース一二〇人、特進コ一ス六十人合計三九四人の新入生は保護者や在校生に見守られ、高校生活の第一歩を踏み出しました。副会長の高倉さんが参列しました。

★ソフトテニス	
関東大会県予選 団体	ベスト 16
関東大会県予選 個人	ベスト 8
関東高等学校	
ソフトテニス選手権大会 個人	出場
県高校総体 団体	ベスト 8
県高校総体 個人	ベスト 16
県選手権大会 個人	ベスト 16
神奈川県春季私立高等学校 ソフトテニス大会 (女子)	
団体	ベスト 8
★男子ソフトボール	
関東大会県予選	ベスト 8
県高校総体	ベスト 8
国民体育大会県予選	準優勝
式野球	
神奈川県軟式野球秋季大会	

二〇〇七年度卒業式
二八三人が新しい世界へ旅立つ

二〇〇八年度ノ学年
三九四人の第一歩

平成19年度

★レスリング
関東大会
全国高校総体
全国高校総体
全国高校総体
全国グレコローマン選手権大会

秋季関東高等学校軟式野球大会

平成二十年度 主な学校行事

九月
六日・七日 こゆるぎ祭
二二二・二六日 一・二年生期末試験

二二日～一月六日 冬季休暇
二四日～二六日 講座
二九日～一月三日 学校閉鎖

四月

八日 入学式
九日 前期始業式
十五日～十七日 一年生宿泊研修・瑞雲寺訪問



入学式

十一月

三日 前期終業式
四日～八日 秋休み
九日 後期始業式
十九日～二十四日 二年生心の旅韓国・ベトナム



こゆるぎ祭

五月

二日～五日 前期中間試験
十四日 大学進学相談会
二一日 教養講座 黒田裕子氏
二二日～三一日 講座

十五日～二二日 米国短期留学生来校

十一月
十九日・二十日 芸術鑑賞



芸術鑑賞

六月

一日～五日 講座合宿
十一日～二二日 学校閉鎖
十八日～二二日 講座

九日～十二日 中間試験・卒業試験

ありがとうございます・もちつき大会
チヤリティー・コンサート

三月

一日 卒業式
四日 二次入試
六日～十日 期末試験
十三日～三一日 米国短期留学
二十五日 終了式

ご注意下さい

最近、本校の関係者を名乗り、「進路を確認したい」や「卒業者の名簿を作成したい」など色々な手口を使って、卒業生の個人情報を聞き出そうとする不審な電話が卒業生の自宅にかかることがあります。本校では一切そのような行為は行っておりませんので、ご注意ください。

編集後記

初めての作業で色々不手際もありましたが、役員の方々の手助けにより、なんとか発行にこぎつけました。創刊号ということで、ページ数を八ページにし、「こゆるぎ会」(同窓会)の動き、二年後に計画されている創立100周年記念事業のこと、現在の学校の状況を中心に紙面を構成しました。こゆるぎ会や学校の様子が分かつて頂けたでしようか。「こゆるぎ会会報」は毎年一回発行していくきます。紙面の構成や記事について、ご意見をこゆるぎ会事務局までお送り頂ければ幸いです。

〒二五九一一一八五

※ 学校行事等は学校のホームページに掲載しています

伊勢原市見附島四一
向上高等学校内
こゆるぎ会事務局